

# 中農だより



一日一善

校長 具志堅三男

毎朝、福祉科や熱帯資源科の生徒たちが落ち葉を掃いている光景を目にします。まさに一日一善である。「毎日一回良いことをすると一生に一回良いことがある。」私はそう言って生徒たちを称賛している。それは私の持論です。つまり、毎日一回良いことを続けると、一生涯ハッピーハッピーということになります。

私がそんな持論を唱えるようになったのはわけがあります。中農で青年教師のころ、毎日、グラウンド周辺の草刈りをして先妻教師がいました。「先生、毎日毎日草刈りして疲れませんか？」そんな私の問いに先妻教師はこう言いました。「私は、夜、好きなご飯をいっぱい食べて、なまかつ疲れた。だから、こうしてカッパをかぶり草を刈ることで汗をかき身体の水分を絞っているのだ。今夜の夕食の汁を飲むえば草刈りは楽しい。」私は先妻教師の一言で目が覚め、その後毎日校内の草刈りをはじめました。それからというもの難儀なことが難儀でなく「楽しく」思えてきました。

ところで、刈った草や落ち葉は良い土壌を作る源です。良い土の条件は保水性、通気性、排水性を備えた団粒構造化した土壌ですから、落ち葉などの有機物は貴重であります。ですから、私流に言えば、落ち葉一枚一枚は千円札であり、集めた落ち葉は「札束」なのです。労働で汗を流して体づくりをやりながら、札を集め、みんなに感謝される日々って楽しいことではないでしょうか。

旧正門どおりの方々も毎日、毎日、本校の樹木から落ちた葉っぱや枝を黙々と集め続けています。「いつもありがたうございます。」と言ったと、返ってくる言葉は、「運動ですから。」「中農にはやってもたがお世話になっていますから。」である。

迷惑ばかりかけているはずなのに、「世話になっっている」という温かく優しいお言葉を拝聴するたびに、「二日一善」という言葉の重みをひしひしと感じます。そして、行事が来るたびに、何か「無料引き換え券」でも配布したい気持ちになります（感謝）。

十二月七日（土）、八日（日）は農業祭です。保護者の方々は野菜や草花、卵、加工品などを購入されると思いますが、「子弟（青春）の汗と涙、そして成長と喜びが詰まっている農産物（生産物）を購入したり、農場を見学したりすることなどをとおして、わが子の頑張りを再認識していただきたいと思えます。

## 祝 ☆ 優秀賞受賞

### 日本学校農業クラブ連盟全国大会

プロジェクト発表 区分 食料生産 (首都圏大会)

テーマ「うるま市の宝オクラで広がる大きな輪PARTII」オクラ畑の生産・流通・販売への取り組み」  
食品科学科三年 大牟禮園 吉里真紀  
喜納由花 古波蔵佳徳 仲宗根根廣

農業鑑定 区分 農業  
熱帯資源科二年 松田珠莉  
農業鑑定 区分 食品科学  
食品科学科三年 又吉綾乃

十月二十二日から二十四日までの三日間、首都圏で行われた「第六十四回日本学校農業クラブ連盟全国大会」において本校生徒が優秀賞を受賞しました。

「農業クラブ全国大会」は、農業高校生の甲子園ともいわれ、全国の高校で農業を学ぶ生徒たちが、日頃の学習の成果を発表したり、交流を深めること等を目的に開催されます。そのような大きな大会で、食品科学科プロジェクトチームがプロジェクト発表で優秀賞。また、農業鑑定においても熱帯資源科二年の松田珠莉さん、食品科学科三年の又吉綾乃さんが優秀賞を獲得するという快挙を成し遂げました。本当におめでとうございます。優秀賞は全国で二位に値する賞で、努力の賜物だと思えます。



また、この日本学校農業クラブ連盟全国大会が来年には沖縄で開催され、本校が事務局となります。来年度の大会に向けて中農一丸となって盛り上げていきます。

十二月の中農市は、「農業祭」として七日（土）八日（日）に開催します。

## ～ 第二回 体験入学 終了 ～



熱帯資源科



園芸科学科



食品科学科



造園科



福祉科



定時制農業科

十一月一日に第二回体験入学が行われ、一二二名の中学生が参加しました。体験入学では、各学科の工夫を凝らした実習や実際に授業で学んでいる内容を、二・三年生が中心となり中学生に体験させているものです。各学科特色を活かした盛りだくさんの内容で、体験入学を担当した本校生徒からも自然と笑顔がこぼれる場面が多くなりました。

体験後のアンケートでは、「さらに中部農林高校を受換したい」と思いました。「先輩達が優しく指導してくれて嬉しかった。」「学校の雰囲気がとても良く、面白そうだと思いました。」など嬉しい感想がたくさんあります。

中学生の皆さん、中農にはまだまだ伝えきれない魅力がたくさんあります。是非中農に入学してその魅力に触れてみてください。

食品科学科三年生が考案した「ムルうるまジャージャー麺」が「ご当地！絶品うまいもん甲子園」で準優勝（食料産業局長賞）を見事受賞しました。「うまいもん甲子園」とは、全国の農林漁業に関わる高校生が、地域の特産物に創意工夫して調理した「ご当地！絶品うまいもん」の日本一を決める料理コンテストです。今年も全国から五八校一三三チームが参加しました。大会に出場した食品科学科三年の大牟禮園さん、吉里真紀さん、喜納由花さんは「昨年は予選で落ちてしまったので、今年はそのリベンジという気持ちで参加しました。うまいもん甲子園に参加して一番うれしかったことは、様々な県の高中生と仲良くなったことです。この大会に参加しただけではできなかった交流ができた本当によかったです。私たちの一生の思い出になったと思います。」と大会に参加した感想を語ってくれました。準優勝、本当におめでとうございます！



## 第22回農業祭

日時：十二月七日（土）八日（日） 十時～三時  
場所：本校各学科メイン会場

日頃の学習内容の展示や、生徒が丹精込めて作った生産物を、保護者や地域の皆様に販売いたします。皆様のお越しをお待ちしております。

### ～ 12月の行事～

- 2日 全体集会、身なり指導週間
- 3日 3学期HR役員選出
- 4日 防災訓練 (5・6校時)
- 5日 勤怠指導
- 6日 農業祭準備、全体清掃
- 7日 農業祭1日目
- 8日 農業祭2日目
- 9日 振替休日
- 10日 振替休日
- 11日 第4回追試申し込み(～17日)  
追試対象者校長指導  
校外学習(3-5)
- 12日 県内庭園見学研修(1-4)  
日本情報技術検定(word)
- 13日 日本情報技術検定(Excel)  
福祉科課題研究中間発表
- 14日 日本農業技術検定
- 15日 愛玩動物飼養管理士試験
- 16日 クリスマスカードコンテスト  
(～20日)  
返本週間(～24日)  
特別支援学校との交流会(2-5)
- 17日 2学年進路講話(LHR時)
- 18日 県福祉系高等学校研究発表会
- 20日 学級PTA・校長一斉指導
- 24日 月曜日の授業
- 25日 1校時は月の1校時  
終業式・新生徒会認証式・引継式  
全体清掃、食科学科集会
- 26日 落ち葉拾い(園芸)  
松枝採集実習(1-4)
- 27日 門松作り実習(2-4)
- 28日 造園科学科PTA(門松作り体験)

## 技能五輪全国大会頑張ります！

十一月二十一日から二日、東京で開催された「技能五輪全国大会」に本校の園芸科三年生が参加し、県代表としてフラワー装飾部門に園芸科三年の新崎裕貴さんと仲根亜季さんが出場し、造園の部門に造園科三年宇原諒さんと島袋啓斗さんが出場します。

選手宣誓を行った島袋啓斗さんは「青年技術者として、全国でも他の選手に負けないように、良い成績を残せるよう頑張ります。」と意気込みを語ってくれました。また、フラワー装飾部門に出場する仲根亜季さんは「今までの練習の成果をしっかりと発揮できるように頑張ります。」と語ってくれました。



## ガーデニングワールドカップ視察研修に行きました

十月十九日、二十日、二十一日に株式会社住太郎ホールディングス園芸科の生徒四名を長崎県で行われた「ガーデニングワールドカップ」に招待してくれました。世界中から集まったアーティストによるガーデニング作品やフラワーアレンジメントを見学し、トップアーティストの技術や感性を学ぶことができました。また、チェルシーフラワーショーで三年連続ゴールドメダルを受賞した石原和幸先生から直接、作品の説明や鑑賞する際の心構え等を教えてもらいました。

生徒からは「作者の生い立ちや伝えたいテーマを意識することを知った。」、「今後、学校の実習で作品を作る際のアイデアが浮かぶ。」などの感想が聞かれました。



園芸科学科3位入賞



オクラプロジェクトの発表



野生ランプロジェクトの発表

十一月二日に行なわれた、SCORE(サイエンスイン沖縄…起業のための研究能力)に園芸科の「未来に繋げ！レキオスハート」に想いをのせて沖縄の野生ランを活用したプロジェクトが発表されました。SCOREとは、県内高校生への体験型教育を進展させ、起業家精神に関心をもち、苦手だった英語をもっと勉強したいと思っただけでなく、受賞おめでとうござい

発表を行った園芸科学科二年梅崎祐磨さんは「自分たちの研究を英語で発表し、苦手だった英語をもっと勉強したいと思っただけでなく、受賞おめでとうござい

## SCOREサイエンスイン沖縄 園芸科学科 三位入賞

## 頑張る中農生、応援します！

創作活動を通して、戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てることを目的とした、第二十三回「児童・生徒の平和メッセージ」作文部門で食品科学科三年の伊藤あかりさんが優秀賞、園芸科学科三年の平良圭祐さんが佳作。詩部門で園芸科学科三年の上夏実さんと大城春樹さんが優秀賞、熱帯資源科三年の西村藍海さんが佳作を受賞しました。

また、農業の基礎から応用までを習得し、農業を学ぶ学生や農業を仕事にしたい人のための検定である、農業技術検定二級に園芸科学科三年の宮城雅さんと熱帯資源科二年の宮城愛永さんが、合格率一二％という難関を突破し合格しました。

このように、中農生は幅広い分野で頑張っています。これからも、不撓不屈、頑張る中農生を応援します。



児童生徒の平和メッセージ



農業技術検定2級

## 第六十一代生徒会長選挙が行われました

十月二十九日に第六十一代生徒会長選挙が行われ、創立記念マラソンを、創立記念校内陸上にする。の全員がお弁当を購入できるように広い設置場所を検討する。の楽しい行事の一つを作る。

これら三つの公約を掲げた福祉科二年の当真聖香さんが当選しました。当真聖香さんは「ひとつひとつの行事を、皆が充実感を味わえるように、生徒会執行部で今まで以上に取り組んでいきます。今までの会長たちに比べ至らない点もありますが、皆が過ごしやすいうちの学校生活をおくれるように気づき・考え・行動していきます。公約達成のためにも、日々努力し、もちまえるパワフルさ、根気強さで、また助け合いながら出来るだけ多くの生徒・生徒会執行部の意見を取り入れていきます。頑張りたいです。」と熱い気持ちを語ってくれました。

これから、新任生徒会長のフレッシュな想いの下、中農は盛り上がりそうです。



生徒会長：当真聖香さん

